

はじめまして (英語) How do you do? (ネパール語) **आरामै छ ?** (タガログ語) Komusta ka?
 ごきげんいかがですか How are you? アラメ・チャ? クムスタ・カ?

PHD LETTER

No. 5 発行 1982年12月1日

編集発行 PHD財団・PHD協会
 〒650 神戸市中央区元町通5-2-3
 甲南サンシティ元町ビル
 電話 神戸 078-351-4892
 郵便振替 神戸 9-23625 PHD基金事務局
 定価100円 印刷所 マルニ出版印刷

- 〈目次〉
- PHDメッセージ
 - 年末献金について

協会ニュース

- ・岩村先生受賞
- ・事務所変更
- ・おたより紹介
- ・PHD基金寄託の状況
- ・PHDわかちあい運動
- ・岩村先生新書紹介
- ・研修旅行のご案内

PHD運動とは

PHD運動とは昭和37年(1962)より約20年間、ネパール、東南アジアを中心とした発展途上国で医療活動に従事された岩村昇博士によって提唱された国際ボランティア運動であります。これまで自分のためにだけ使っていた時間、技能、財などの10パーセントを献げて、平和づくり(Peace)健康づくり(Health)を担う人材をつくる(Human Development)運動を世界中にひろめることを目的として昭和56年(1981)からはじめられました。

年末献金のおねがい

岩村昇



9月から10月にかけてネパールに
 戻りて来ました。そろそろと入れの時期で、例年
 ならやがて訪れる収穫のお祝い感謝のお祭りの
 準備で、活気にあちて居る村やが、妙に
 静かさを帯びて来ると、今年は大候不順で
 帰りのタイのバンコクで水たのびたアジアの
 村々を、水たのびたアジアの村々を、
 海岸、湖岸のフィリピン、
 説明のききで、先で居ました。
 日本に帰ると、アジアとは何か
 はなれた生活で、今日も食事をたべのこして
 捨てて居ます。その日本の中でPHD研修生
 は、フィリピンの二人は、小豆島の被褥を、ネ
 パールの二人は、小豆島の不作を心配し、夫々
 「帰国したが、村の復興のためにおねがい」と決意
 を新たにして居ます。彼等は来年初夏には帰国します。そ
 の時につけられた復興資金として、10/1,000円の年末献金をお願いいたします。

§ 年末献金について = PHD協会 =

「共に生きる」「生きるとは分か合うこと」「なかよく・すこやかに・いきいきと」を標語とした国際ボランティア運動の一環として年末献金をはじめることになりました。
 アジアからのPHD第1期研修生4名が、日本滞在中はもちろん、帰国後も、それぞれの地域、国でPHD運動の輪を更に大きく拡げることが出来ますように、ご協力をお願い申し上げます。

年末献金の振込は同封の郵便振替用紙をご利用くださると便利です。

郵便振替：口座番号 神戸[※]9-23625
 口座名 PHD基金事務局

ご家族やお知合いの方々にも、PHD運動のことをお話しください。



§ 岩村先生 兵庫県社会賞を受賞

昭和 37 年から 18 年間ネパールを中心にアジアの発展途上で献身的な医療活動と草の根健康運動に取り組み、帰国後は PHD 運動を提唱、国際ボランティア運動に貢献されていることに対して 11 月 3 日菊薫る文化の日に昭和 57 年度文化賞 6 人と 1 団体、科学賞 5 人、社会賞 2 人と 1 団体のうちの 1 人として受賞されたものです。

§ 事務所変更

昭和 57 年 8 月 20 日、PHD 財団の法人許可にともない、事務局も同じ甲南サンシティ元町ビル内の広い部屋（711 号室）に移転いたしました。同時に、PHD 協会員（ボランティア）の業務の能率化をはかるため、必要最少限の備品も購入しました。新たに経理担当として鎌田さんが着任されました。只今ボランティアは 27 人です。平日は午前 9 時から午後 5 時まで、土曜日は 12 時までとし、勤務も協会員で分担してすることになりました。庶務部門は主に福島さんが担当され、他の業務についても少しずつ役割分担を明確にしていくことになると思います。

ボランティアとしての皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

おたより紹介



☆ 全国から寄せられる PHD 運動に対するご支援に、協会員一同大変励まされております。お礼を申し上げるとともにお便りの一部を紹介させていただきます。原文のまま掲載します。

○いつもお手紙やパンフレットを、ありがとうございます。九月分のおこづかいが、はいりましたので、いつものように少しですが、五百円をおくります。同封の切手は、ぼくの話を書いて、祖母が、ためていてくれたものを、くれましたので、ぼくにはけっこうですから祖母に、おれい状を書いてくれると、さいわいです。これからも、毎月五百円おくりますから、みなさんもがんばって下さい。

— 東京都大田区 中学校 2 年生 —

○どうかお願いします。

このお金と切手を、アジアの人のため、世界の困っている人のために使ってください。これで充分、というほど集っていませんが、1円5円10円と、ためたお金です。どうかよろしくお願いします。こんなに平和で幸せなのは、私達だけで、そのために苦しむ人がいるなんて、どうかみんなが幸せになるように、関係者のみなさん、どうぞがんばって下さい。私もできる限りのことはします。

— 兵庫県津名郡 高校 3 年生 —

§ PHD 基金寄託の状況

皆様からの浄財について、LETTER No. 2 に引きつづき以下の通りご報告します。なお神戸新聞社のご好意により毎日曜朝刊に「PHD 基金寄託」を掲載していただいております。

8 月 1 日～ 10 月 31 日総計 6,380,083 円

上記とは別にロータリー関係の集計が出来ましたのでご報告いたします。

全国各地の 158 ロータリークラブの皆様から

4 月 1 日～ 10 月 31 日総計 22,071,948 円

の尊いご寄付を頂きました。

厚くお礼申し上げます。

§ PHD わかちあい運動（バザー）

去る 10 月 24 日（日）神戸 YMCA のご好意でバザー会場の一角をお借りして PHD バザーを行いました。予想外のご支援とご協力に対しまして厚くお礼を申し上げます。

今後、PHD 協会のわかちあい運動として、バザーを年数回企画いたしておりますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

§ 岩村先生新書紹介

○「共に生きるために」という岩村昇先生の新しいご著書が、新教出版社から発行されました。定価 1,600 円に送料 240 円を添えてお申込み下されば、当協会からお送りいたします。



§ 研修旅行のご案内

第 2 回 PHD 現地研修旅行を今年度は 12 月 10 より 21 日まで行います。ネパールだけに滞在し、ネパール結核予防協会、ネパール家族計画協会より推せんを受けた PHD 第 2 期研修生との面談をしたり、農村地区でのホーム・ステイなど計画しております。すでに参加者を募っておりますが、まだ余裕がございますので、パスポートをお持ちの方は早急に協会までお問い合わせください。